

茨城県県北農林事務所
常陸大宮地域農業改良普及センター

〒319-2255 茨城県常陸大宮市野中町3083-2
TEL. 0295-53-0116 FAX. 0295-53-1077
(大子駐在) 〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤6690-1
TEL. 0295-74-0461 FAX. 0295-74-0769

普及センターだより



▲部会の皆様

○部会の取組

部会では、ハナモモを中心
に枝物の安定生産、目揃会や
研修会の開催、生け込み装飾
等による枝物PR活動、及び
ニーズに応じた出荷や作付け
等に取り組んでいます。枝物
PR活動では、地元の若い世
代に花文化を継承し、また地
域活性化を図るため、全
国高校生花いけバトル茨
城大会の支援も行っています。
普及センターでは、產
地の更なる発展やブラン
ド力向上のため、栽培技
術や、新規就農者への支
援を中心に、部会の取組
を後押ししています。

普及センターでは、產
地の更なる発展やブラン
ド力向上のため、栽培技
術や、新規就農者への支
援を中心に、部会の取組
を後押ししています。



▲第54回日本農業賞表彰式
(令和7年3月9日)
左：部会長、右：会長

員は一五三名と年々増えていますが、より多くの仲間を求
めています。部会員の中には、
定年帰農者や、他産業に従事
しながら枝物を栽培・出荷し
ている方も多いです。新規
就農や複合経営も歓迎しま
す。部会の推奨品目の提案も
行っています。

お気軽にご質問ください。
お気軽にお問い合わせください。

JAH常陸奥久慈枝物部会の ブランド力向上の取組

○第五回日本農業賞(集團 組織の部)大賞を受賞

約二〇年前に九名で始まつ
た部会は、定年帰農者を中心
に耕作放棄地を活用しながら
産地を拡大してきました。部
会のこれまでの様々な取組が
評価され、令和七年三月に、
農業界での権威ある「日本農
業賞」で、頂点となる大賞を
受賞し、日本農業を牽引する
トッププランナーとして認めら
れました。今後、産地の更な
る発展が期待されています。

JAH常陸奥久慈枝物部会
(以下、部会)は、常陸大宮市・
大子町・常陸太田市にまたが
る広域の切り枝生産部会です。
生け花や花束に用いられる約
二五〇品目の「枝物」を周年
で出荷しており、令和六年度
販売実績では、二億五〇〇〇
万円を達成しました。令和元
年には、「奥久慈の切り枝」
で県銘柄産地に指定されてい
ます。

○栽培してみませんか

令和七年一一月時点で部会
員は一五三名と年々増えていますが、より多くの仲間を求
めています。部会員の中には、
定年帰農者や、他産業に従事
しながら枝物を栽培・出荷し
ている方も多いです。新規
就農や複合経営も歓迎しま
す。部会の推奨品目の提案も
行っています。

普及センターでは、農業の振興を図るため、付加価値を高めた農産物生産の取組として有機農業を推進しています。常陸大宮市も令和五年一月に県内でも初めてオーガニックビレッジ宣言を行い、有機農業の推進に力を入れています。

○有機カンシに対する栽培支援

有機栽培は化学合成農薬、化学合成肥料を使用せずに栽培するため、雑草対策が重要となります。カンショ栽培では、ツルが畝間を覆うようになるまでの雑草の発生量が、その後のイモの肥大に大きく影響します。そのため、慣行栽培では、除草剤を活用し、雑草を抑えることが多いですが、有機栽培では除草剤を使用することができません。そこで、普及センターでは、(株)A常陸アグリサポートとともに、有機カンショほ場において、効果的な畝間抑草の試験を行なっています。



▲ 緑肥による抑草の様子

け、除草効果や費用対効果を検討するため、雑草発生量及び除草時間等のデータを収集しました。現在、収穫量や除草の効果、設置に係る労働力等を分析しながら、どの方法が適するか次の一作に向け検討をしています。

普及センターでは有機農業の取組を推進するため、今後も支援していきます。

リンゴ高品質安定生産の取組



▲防除検討会の様子

力子町は県内一の籠置直売型「うに」産地です。主力品種の「ふじ」を中心に、蜜の多い「こうとく」や地域のオリジナル品種「奥久慈宝紅」等、特色ある品種が栽培されており、県外でも知名度が高まっています。

皆様は、ご自身のほ場の土壤成分状態を把握していますか。成分バランスが良いと作物の成長も良く、逆に、バランスが悪いと作物の成長を妨げ、生理障害になる可能性もあるとされています。

普及センターでは、毎月一回土壤診断を実施しています。診断項目は、pHとEC、さらに石灰、苦土、加里、リン酸の成分量でバランスを調べることができます。また、診断結果を元に土壤改良資材の施用量についても提案をしています。

自分のほ場に足りない成分と量を把握できれば、必要な分のみを施用することで資材費の削減にもつながります。調べたいほ場から三～五か所の土を合わせて茶椀一杯程度（約一五〇g）お持ちいただければ、土壤診断ができます。



携し、現地の事例を収集しながら、日焼け果や着色不良への対策を呼びかけられています。本年度は、日焼け果発生軽減効果を確認するため、遮光ネット設置の現地試験も実施しました。

土壤診断の取組

海野さんは、常陸大宮市で促成長期どり大玉トマト栽培を行い、環境制御装置を活用した栽培の高度化に取組んでいます。また、地域の若手農業者組織の会長を務めた経験もあり、今後も地域農業を牽引する存在として一層の活躍が期待されます。

A portrait of a man with dark hair and a slight smile, wearing a dark zip-up hoodie. He is standing in a greenhouse filled with rows of green plants, likely tomatoes, growing under a white trellis system.

茨城県では、将来、地域農業の担い手となる農業青年を青年農業士として認定しています。令和七年度は、管内から青年農業士一名が認定されました。



▲常陸大宮地域農業改良 普及センターHP

▲県北農林事務所X
(旧Twitter)

新任青年農業士の紹介

◇ 農薬はラベルや最新情報をよく確認して正しく使いましょう ◇